

9:1 聞きなさい。イスラエル。あなたはきょう、ヨルダンを渡って、あなたよりも大きくて強い国々を占領しようとしている。その町々は大きく、城壁は天に高くそびえている。

9:2 その民は大きくて背が高く、あなたの知っているアナク人である。あなたは聞いた。「だれがアナク人に立ち向かうことができようか。」

9:3 きょう、知りなさい。あなたの神、主ご自身が、焼き尽くす火として、あなたの前に進まれ、主が彼らを根絶やしにされる。主があなたの前で彼らを征服される。あなたは、主が約束されたように、彼らをただちに追い払って、滅ぼすのだ。

9:4 あなたの神、主が、あなたの前から彼らを追い出されたとき、あなたは心の中で、「私が正しいから、主が私にこの地を得させてくださったのだ。」と言ってはならない。これらの国々が悪いために、主はあなたの前から彼らを追い出そうとしておられるのだ。

9:5 あなたが彼らの地を所有することのできるの、あなたが正しいからではなく、またあなたの心がまっすぐだからでもない。それは、これらの国々が悪いために、あなたの神、主が、あなたの前から彼らを追い出そうとしておられるのだ。また、主があなたの先祖、アブラハム、イサク、ヤコブになされた誓いを果たすためである。

9:6 知りなさい。あなたの神、主は、あなたが正しいということで、この良い地をあなたに与えて所有させられるのではない。あなたはどうなじのこわい民であるからだ。

9:7 あなたは荒野で、どんなにあなたの神、主を怒らせたかを覚えていなさい。忘れてはならない。エジプトの地を出た日から、この所に来るまで、あなたがたは主に逆らいどおしであった。

9:8 あなたがたはホレブで、主を怒らせたので、主は怒ってあなたがたを根絶やしにしようとした。

主のご計画に進むための約束というのは、”与えてあるので攻め取りなさい”とうものです。それを手にするには、約束を信じて、前進する必要があります。

その行く手にはアナク人のような敵がいるかもしれない。しかし与えてくださるというのが主の約束である以上、戦われるのは主なのです。自分の力は関係ないこととなります。主の約束であるなら、自分の力以上のことができるのです。

ただしその場合、忘れてはならないのは、「私が正しいから、主が私にこの地を得させてくださったのだ。」と言ってはならないということです。私たちクリスチャンも比較的良い人が多いですから、自分が正しいと思いがちですが、主の前では罪深い者です。

「これらの国々が悪いために」とありますから、それに比べれば「正しい」と思っても良さそうですが、主はそれをよしとなさいません。「正しさ」も「こころがまっすぐ」であることも、人と比べるものではないのです。主の聖であることの前はどうであるかです。

謙遜に主の恵みを受け取りましょう。そして感謝を表しましょう。主の愛を証しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

